

報告事項 1

令和 4 年度国民健康保険保健事業報告

木更津市役所保険年金課
令和 5 年 2 月

1 特定健康診査の状況

本市の特定健康診査のR 3年度の実受診率は、42.9%で、前年度比 0.3 ポイント増加しました。

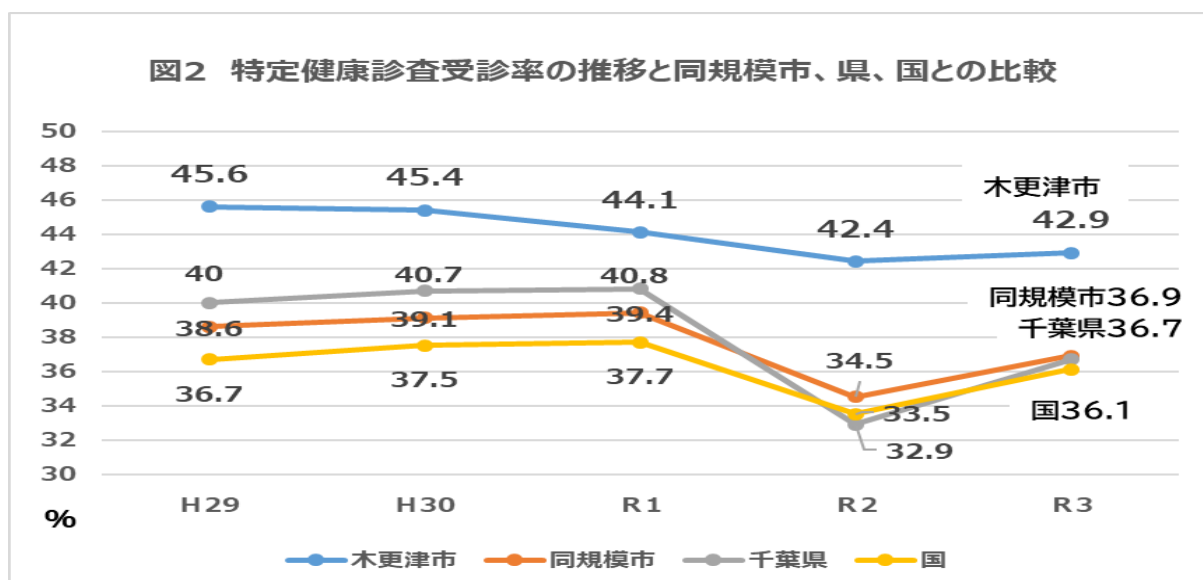
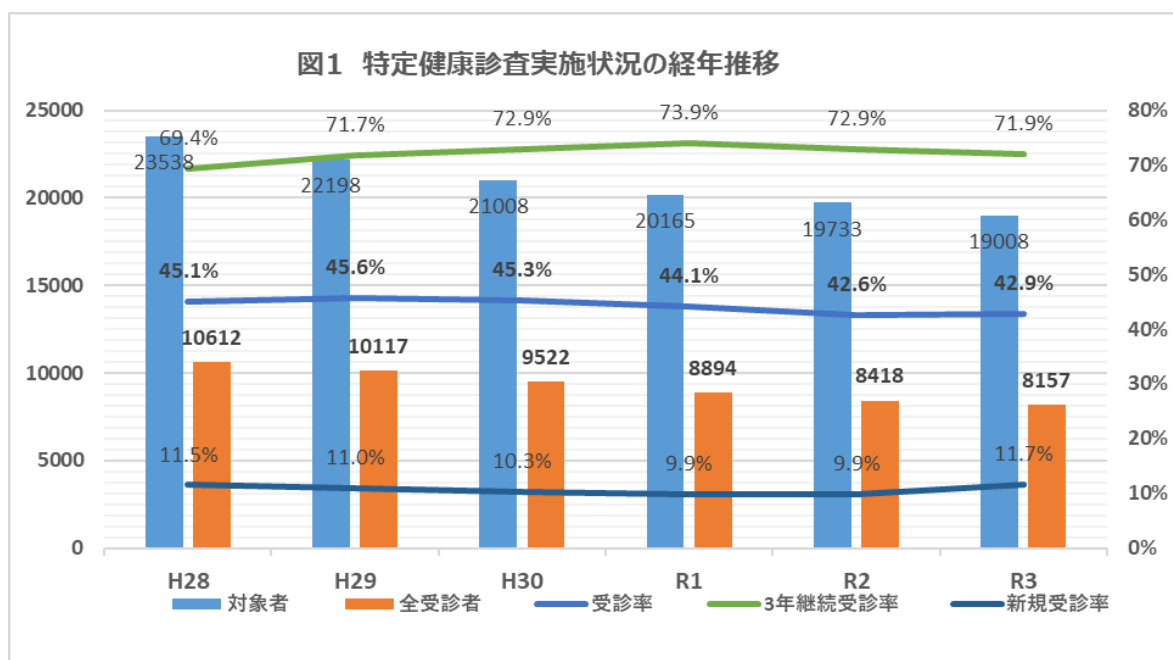
新規受診者も 11.7 %で前年度比 1.8 ポイント増加し、3 年連続受診率も 5 年間 7 割を超えています。

受診率の県内 57 保険者中の順位は 13 位、全国同規模市の順位は 1 0 3 市中 2 2 位で、同規模市、千葉県、国と比較しても、上位に位置しています。

表1 特定健康診査実施状況の経年推移

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
対象者	23,538人	22,198人	21,008人	20,165人	19,733人	19,008人
全受診者数	10,612人	10,117人	9,522人	8,894人	8,418人	8,157人
全受診率	45.1%	45.6%	45.3%	44.1%	42.6%	42.9%
3年継続受診率	69.4%	71.7%	72.9%	73.9%	72.9%	71.9%
新規受診率	11.5%	11.0%	10.3%	9.9%	9.9%	11.7%
目標値	55.0%	60.0%	47.5%	50.0%	45.5%	46.0%

特定健康診査・特定保健指導法定報告書



年代・性別の受診率は、年齢層が高くなるにつれて高くなり、男性より女性の方が高いです。

表2 特定健康診査の年代別受診率（R3）

年齢	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	40-64	65-74	小計
実施率 全体	21.7	24.4	24.6	29.0	41.9	48.5	52.0	29.7	50.7	42.9
実施率 男	18.7	21.6	21.8	22.3	34.6	43.7	49.1	24.3	47.2	38.0
実施率 女	25.1	27.9	28.0	36.3	47.4	52.5	54.3	35.3	53.7	47.3

市内の地区別受診率は、富来田地区、八幡台小地区、東清小地区が高く、請西小地区、一中地区、三中地区で低くなっています。

表3 特定健康診査地区別受診率

順位	地区	受診率	順位	地区	受診率
1位	富来田	49.2%	11位	清川（南清小）	43.8%
2位	波岡（八幡台小）	48.1%	12位	岩根西	43.0%
3位	清川（東清小）	46.0%	13位	二小	40.3%
4位	鎌足	46.0%	14位	太田	40.0%
5位	岩根	46.0%	15位	三中	39.1%
6位	金田	45.9%	16位	一中	38.6%
7位	波岡（波岡小）	45.7%	17位	請西小	35.9%
8位	畑沢	44.5%		市外	-
9位	中郷	43.9%		市平均	42.9%
10位	真舟小	43.8%			

2 特定健康診査結果有所見率

有所見率をみると、木更津市は、メタボリックシンドローム該当者、腹囲基準以上、血圧＋脂質所見の人が多いです。

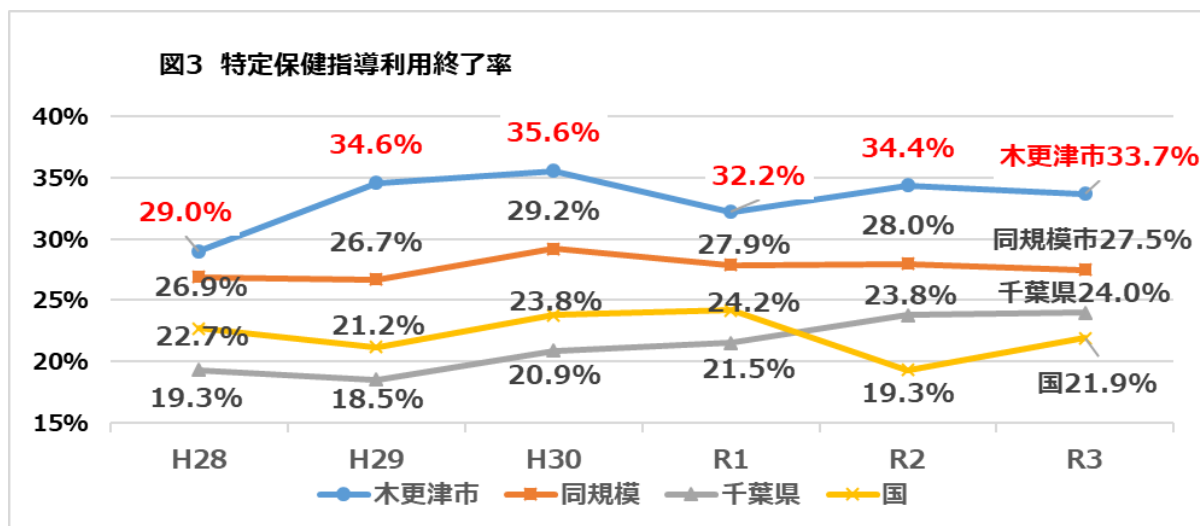
県内順位の前年度比は、メタボ予備軍、BMI、血糖、血糖＋脂質の4指標が大きく改善し、12指標中8指標で改善が見られました。

表4 特定健康診査受診者の有所見率と千葉県内順位

項目	所見率	県内順位(ワースト順)		
		R 3	結果	R 2
メタボ予備軍	12.0	22	大きく改善	12
メタボ該当者	23.4	9	少し改善	7
非肥満高血糖	8.3	40	少し改善	39
腹囲	39.0	9	変化なし	9
BMI	4.7	41	大きく改善	26
血糖	0.5	50	大きく改善	23
血圧	8.5	17	少し悪化	18
脂質	3.0	12	改善	8
血糖＋血圧	3.1	26	改善	21
血糖＋脂質	1.3	18	大きく悪化	28
血圧＋脂質	11.3	5	少し悪化	6
血糖＋血圧＋脂質	7.7	19	少し改善	18

3 特定保健指導の状況

特定保健指導のR3年度の利用率は、33.7%で、前年度比0.7ポイント減少しました。
利用率の県内57保険者中の順位は17位で、同規模市、千葉県、国と比較しても、高い利用率を維持しています。



特定保健指導の利用状況は、45歳から59歳で低い傾向にあり、40歳から44歳及び60歳以降は高い傾向にあります。また男性より女性の方が高いです。

表5 特定保健指導の年代別利用率（R3）

年齢	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	40-64	65-74	小計
実施率 全体	26.5	21.5	18.4	26.4	29.9	41.5	38.0	24.6	39.4	33.7
実施率 男	23.1	20.9	8.0	14.3	27.3	39.7	33.5	18.8	36.1	29.6
実施率 女	37.5	22.7	38.5	40.0	33.3	45.3	46.3	34.1	45.9	41.0

4 医療費

特定健康診査を受診している人の方が未受診者よりも、生活習慣病関連の医療費が大幅に低くなっています。（入院＋外来の医療費総額）

健診未受診者に比べての1人あたり医療費は、健診対象者全数では9,988円低く、生活習慣病有病者では、27,483円低くなっています。

表6 特定健康診査受診者・未受診者における医療費の比較

R3年度 入院＋外来	生活習慣病関連1人あたり医療費	
	健診対象者全数	健診対象者の内生活習慣病患者
健診受診者	2,934	8,073
健診未受診者	12,922	35,556
差額	-9,988	-27,483

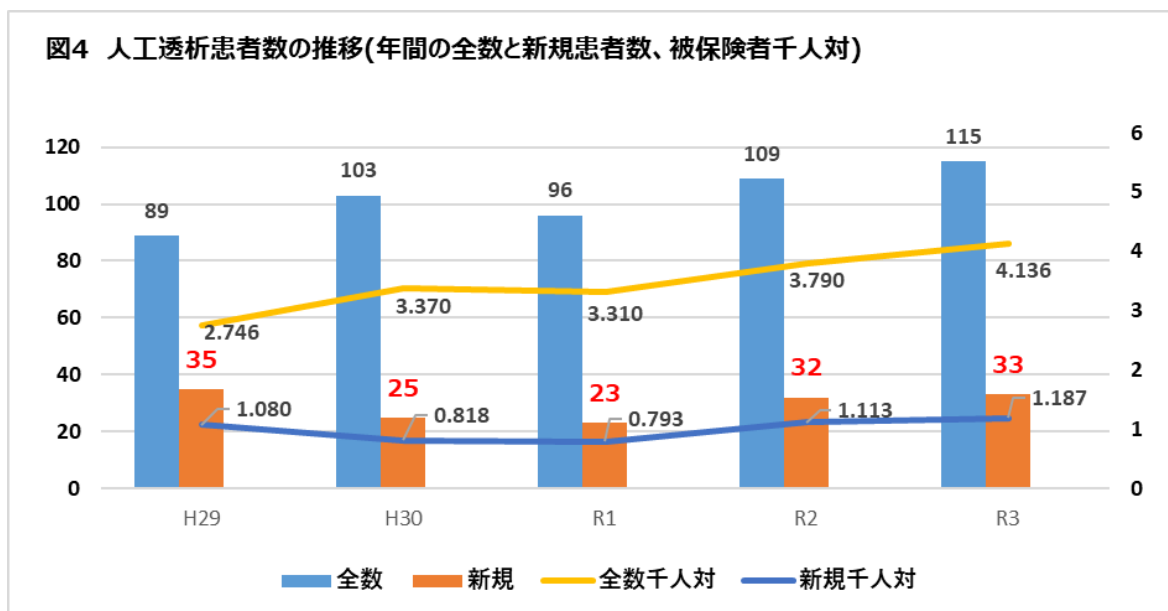
※KDB地域の全体像の把握

5 人工透析

新規人工透析患者数は、R2年度は33人で、目標値の年間30人以内を達成できませんでした。

R4年度の新規透析患者数は、R5年1月24日現在24人となっています。

国保被保険者千人あたりの新規人工透析患者数は、R1年度から微増しています。



KDB厚生労働省様式3-7 人工透析のレセプト分析 7月レセプト(40歳～74歳)

国民健康保険特定疾病認定申請書

社会保険等からの異動によって、新規人工透析患者となる人は全体の33.3%です。

人工透析の原因疾患は、糖尿病性腎症が45.5%で、次いで腎硬化症21.2%となっており、糖尿病や高血圧が関係する疾患が66.7%を占めています。

R4年7月のレセプトでは、人工透析患者119人の1か月の合計医療費は6,647万円でした。

表7 R3年度 新規透析導入者（特定疾病申請書提出者）内訳

	年代別合計	内訳（再掲）		原因疾患（再掲）				
		1年以上国保加入者	社会保険から異動	糖尿病性腎症	腎硬化症	慢性糸球体腎炎、SLE腎炎	間質性肺炎	その他、不明
30代	1	1	0	1				
40代	3	2	1	1		1		1
50代	6	3	3	3	1			2
60代	11	5	6	4	4		1	2
70代	12	11	1	6	2	3		1
合計	33	22	11	15	7	4	1	6
割合		66.7%	33.3%	45.5%	21.2%	12.1%	3.0%	18.2%